

安佐医師会サーベイランス週報 第47週 平成24年11月19日(月)～平成24年11月25日(日)

地区	地 区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾 向	コ メ ン ト
	定点医療機関数	4定点	5定点	2定点	2定点	4定点	5定点	2定点	1定点	1定点	25定点		
	対象人口	70,301名	83,657名	36,558名	43,980名	57,838名	65,649名	20,919名	9,158名		388,060名		
	定点数当り人口	17,575名	16,731名	18,279名	21,990名	14,460名	13,130名	10,460名	9,158名				
1	RSウイルス感染症	6					2			1	9	↑	<p>【第47週 安佐圏域での各種感染症の動向】</p> <p>1. RSウイルス感染症: 2→7→9件と再び増加中</p> <p>3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 11→21件と増加</p> <p>4. 感染性胃腸炎:135件と増加 (下図)</p> <p>12. インフルエンザ:0件</p> <p>20. マイコプラズマ肺炎:8→3件</p> <p><インフルエンザ情報></p> <p>・広島市医師会インフル発生調査(47週)より A型4件(安佐地区0件) B型6件(安佐南1件、 安芸郡4件、安芸区1件)</p> <p>* 18～25日間に安芸郡で10件の報告。 かなり多い。</p> <p>・全国:佐賀県が最も多い。定点当り1.59</p> <p><安佐地区感染性胃腸炎の推移></p> <p>・安佐地区47週急増 ・全国定点当りでは、2006年に次ぐ高い値を示している(2000年以降同時期比較)</p> <p>九州、中国、四国、近畿など西日本に多い 0～1才30%、2～3才20%、4～5才15%、6～7才10% 0～7才計75% ……IDWR44号より</p> <p>【最新のイットコール】可部ブロックのK医院より、「ノロウイルス(+)15件」とのイットコールがありました。</p>
2	咽頭結膜熱									2	2	↓	
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7		1		2	5			6	21	↑	
4	感染性胃腸炎	23	13	11	1	53	29	3	2		135	↑	
5	水痘	1	2								3	↓	
6	手足口病												
7	伝染性紅斑												
8	突発性発しん	1			1						2	↓	
9	百日せき												
10	ヘルパンギーナ												
11	流行性耳下腺炎				1		1				2	↑	
12-A	インフルエンザ(A型)									1	1	→	
12-B	インフルエンザ(B型)												
13	急性出血性結膜炎												
14	流行性角結膜炎		2								2	↑	
15	麻疹												
16	風疹												
17	MCLS(川崎病)												
18	髄膜炎(細菌性)												
19	髄膜炎(無菌性)									1	1	↑	
20	マイコプラズマ肺炎	2		1							3	↓	
21	クラミジア肺炎												
22	その他												
合計		40	17	13	3	55	37	3	2	11	181		

◆◆安佐南保健センターより◆◆12月1日は世界エイズデーです！ 安佐南・安佐北保健センターでは、下記の通り通常検査に加え臨時HIV抗体検査を行います。

検査は各日9:00-11:00、無料・匿名、結果説明も含め30分以内で終了する迅速検査で、迅速検査陽性の場合はWB法とPCR法による確認検査を行い、1週間後に本人に結果を説明します。

検査予約は、平日8:30-17:15、安佐南保健センター:電話 831-4942、安佐北保健センター:電話 819-0586 で受け付けています。

12月3日(月)	12月4日(火)	12月5日(水)	12月6日(木)	12月7日(金)
安佐北保健センター	安佐北保健センター	安佐北保健センター	安佐南保健センター	安佐南保健センター

安佐地区以外の広島市各保健センターでも、12月第1週に臨時検査を行っています。詳しくは広島市ホームページの「エイズに関する相談と無料・匿名検査」をご覧ください。

広島県の2007年～2011年の若年男性(24歳以下)のHIV感染報告例は、人口10万対で東京都、大阪府、沖縄県に次いで全国4位、山口県も同8位であり、中国地方での若年層への感染拡大が懸念されています(IASR Vol. 33 p.232-233:2012年9月号)。HIV感染に関連しやすい性感染症が認められる場合、既往がある場合または疑われる場合でHIV感染症を疑う場合は、HIV検査も保険適応になりますので、疑わしい場合は本人同意の上、HIV検査も行っていただくか、保健センター等での無料検査を勧めていただきますようお願いいたします。